



## 無戸籍だって・・・

情報社会で、社会の隅々まで色々なことが知られる日本で「無戸籍者」が五百人以上居ると云う。五月のNHKのクローズアップ現代の報道だ。

夫の子ではないのに

民法では婚姻中に生まれた子は夫の子とし、離婚後三百日以内に生まれた子は前夫の子とすると規定。

七月に最高裁はDNA鑑定で夫の子ではないことが明らかでも、夫の子とするという判決を下した。

「え？」と思った人も多いと思う。

DVで離婚したいのに

DV(ドメスティックバイオレンス)夫の暴力から逃れる為シェルターに避難。離婚を求めても夫が応じ

ないのでなかなか離婚ができない。その内、理解のあるパートナーに恵まれ、その人との間に子供が出来た。出生届を出すと、法律的には暴力を振るう夫の子にされる。それで、出生届を出さないで居ると、無戸籍となる。

戸籍って夕ダの書類上の事じゃないか・・・と思っても、いざ、戸籍がないと免許も取得できない。高校以上の学校にも行けない。

捨て子の場合

この場合には市町村長が戸籍を作るので無戸籍にはならない。

実質の両親がいるのに

実質の両親がはっきりしているのに戸籍がないのは理不尽では？みなさんはどう思われますか？

## 燧ヶ岳と龍宮小屋

群馬県尾瀬ヶ原



江間章子さんの「夏が来れば思い出す」。一九七〇年代、大人気であった尾瀬に、四十年余ぶりにでかけた。

鳩待峠から歩き始める。海拔一六〇〇mとは云え、道も良く、ハイキング気分です。尾瀬ヶ原までは行ける。ウィークデーなのに沢山の人。

尾瀬ヶ原の日光キスゲは、鹿に食べられて少ない。尾瀬沼の東の大江湿原まで行けば見られると云う。水千鳥の白い花が見え、今年黄色の金盞花きんせんかが良く咲いていると云う。

尾瀬ヶ原の中央、龍宮十字路で休憩。東に燧ヶ岳が見え、手前に龍宮小屋が見える。

野外教室だろうか、小学五年生が、十人余りずつ、地元のガイドさんが案内。「子供の頃は池塘ちんちうの浮島に乗って、竿をさして遊んだ」などと話していた。